

会 議 録

会議の名称	病院運営審議会		
開催日時	平成24年(2012年) 5月14日(月) 14時 00分～ 15時 15分		
開催場所	市立豊中病院 講堂(管理棟5階)	公開の可否	㊦・不可・一部不可
事務局	市立豊中病院 病院総務室	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	小島真美、後藤真一、柴山教、末信武夫、高森勝子 本間太郎、山本正一	
	事務局	管理者 小林栄、総長 眞下節、病院長 片桐修一、副院長 北田昌之、 副院長 堂野恵三、副院長兼看護部長 高嶋香奈子、医務局長 東孝次、 薬剤部長 栗谷良孝、事務局長 小城克未、事務局次長 小森憲昭、 経営戦略室長 土田哲久、地域医療室長 坂萩誠二、 医療安全管理室長 水摩明美、医事課長 加嶋隆、 医療安全管理室主幹 大塚靖男、病院総務室主幹 永富直彦、 病院総務室主幹 守屋浩一、病院総務室主幹 市来一弘、医事課主幹 富島庸好	
	その他	経営戦略室長補佐 中村卓	
議題	(1)「新たな病院運営計画(答申案)」について (2)その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

病院運営審議会（審議等の概要）

●委員の出席状況と審議会成立の報告

全委員9人中7人出席、本審議会成立を報告

●議案審議

- 1 「新たな病院運営計画（答申案）」について
事務局より資料に基づき報告。
- 2 その他

《 今後のスケジュールについて事務局より説明 》

5月14日 答申案の承認
5月21日～31日 市長に答申
6月4日～8日 パブリックコメント予告期間
6月11日～29日 パブリックコメント実施期間
7月 「市立豊中病院運営計画」を策定

《 質疑応答 》

1、1ページ下から5行目、「医療の提供を行う」という表現は適切か。「医療を提供する」のほうがいいのではないか。2ページの基本目標「～地域に開かれた、急性期中核病院として、高度で良質な医療を提供します～」と文言を揃えたほうがいいのではないか。

→ 「医療を提供する」に変更する。

2、2ページの基本目標を市民に広報する方法としてどのような方法を考えているのか。

→ 市立豊中病院のホームページでの掲載や、病院入口等の施設内での掲示を行っている。

3、5ページ6行目、「平成22年7月～平成23年3月までに9ヶ月間における当院の疾患別入院患者数」とあるが、なぜ9ヶ月間なのか。通常は1年間ではないのか。

→ 厚生労働省に提出しているDPCの報告データをまとめたものであり、平成22年度は7月から12月までがデータの作成期間となっている。平成23年度からは通年で報告して

いる。

4、7ページ1行目、「自治体病院共通の評価指標となっている経常収支比率は平成22年度では96.7%」とあるが、評価指標は毎年変化しているものなのか。

→病院事業収益と病院費用の割合であり、毎年収益と費用が変わるのに伴い経常収支比率も変化する。平成22年度は96.7%、平成23年度の見込は98.4%となっている。100%でプラスマイナスゼロとなる。

5、9ページ、ワークライフバランスについて、看護職については離職率や勤続年数の統計を以前から出しているが、医師についても同様の統計を出すことは可能か。勤続年数の多い医師がいると患者からの信頼度も高まり、患者が定着していくと思われるが、数値目標はあるのか。

→医師については教育的見地やキャリアの面からも、1つの病院から異動しないデメリットのほうが大きい。大学病院や市中病院を含めた医療界全体で医師が育っているので、そこで育った優秀な医師が市立豊中病院に長期間勤務してもらえるのが理想である。特に女性医師の定着がよければ、市立豊中病院のワークライフバランスがいいと言えるのではないか。

6、10ページ（2）患者サービスの向上 ③院内環境の整備・充実で、売店機能と病院食は全く別の内容なので、文章を分けたほうがいいのではないか。

→「従来より患者要望が多い売店機能については、大幅な充実を図ります。また、入院中の患者さんが快適な生活を送れるよう、病院食の充実に努めます。さらに、図書コーナーなど、外来診療の待ち時間や入院中の空き時間を快適に過ごしていただくための施設を整備していきます。」に変更する。

7、12ページ【運営計画基本数値目標】経常収支比率の数値目標について、収入は病床利用率・平均在院日数等から算出していると思うが、平成29年度100%は達成可能か。また、支出の部分に人件費等も織り込み済みか。

→人件費については、現在の人件費に昇給等もプラスした数字を用いている。その上で100%達成可能と言える。

8、12ページ【運営計画基本数値目標】経常収支比率の数値目標について、100%から110%にするのは可能なのか。

→新病院開院以来毎年100%を下回っており、200億円近い累積欠損金がある状況なので、当面は100%を目標とする。黒字を確保するという視点で経営を考えていくべきではないという考え方であり、よりよい医療のために経営の安定化を目指している。

9、12ページ【運営計画基本数値目標】病床利用率は95%でずっと推移していくのか。患者の増加は見込めないのか。

→現在、病床利用率を上げることを意識しているのではなく、今の診療の状態が95%という数字になっているという状況である。また、豊能二次医療圏の患者数は人口減と高齢者増を合わせても大きな変化はないと思われる。

近隣の自治体立病院の病床利用率と比較するとそれぞれ87%、93.5%、69.1%、91.9%に対して市立豊中病院は近年95%を維持しており、経営的には非常に安定している。現在が目標値に近い状態であるので、5年先まで今の水準を保っていこうと考えている。病床利用率95%、外来患者数1,300人を基本に安定化を図っていききたい。

10、12ページ【運営計画基本数値目標】経営基盤の確立について、入院診療単価・外来診療単価の数値目標は、平成23年度の実績を基準に経常収支比率を98.4%から100%にするために算出したものなのか、それとも他の算出根拠があるのか。

→現在の診療報酬体系が維持されていると仮定した上で、これまでの推移から58,000円、14,000円という診療単価を算出した。この目標単価を収入に置き換えた結果、経常収支比率100%という数値目標となった。

11、12ページ【運営計画基本数値目標】外来患者数（1日平均）について、1,266人から1,300人に増加目標となっており、患者の年齢構成の変化によって受診疾患・診療科も変化していくと思われるが、それに対応するための医師の人員体制なども考慮しているのか。

→入院機能に比重を置くということで、外来患者数1,266人は以前と比べて減少してきている。外来患者については逆紹介なども含め、地域の医療機関にお願いしている。一方、抗ガン剤治療は外来で行うなど、入院機能が一部外来にシフトしている部分もある。入院と外来のバランスから見ても1,300人程度で推移するのが妥当と考えている。

12、12ページ【運営計画基本数値目標】医療連携の推進について、地域連携の登録医療機関契約率は何に対するパーセンテージなのか。また、増やす必要はあるのか。

→豊中市保健所で登録されている豊中市内の診療所など開業している医療機関数と、当院と登録医契約している医療機関数のパーセンテージである。契約数については現在充足しているという状況ではなく、地域連携を進めるという観点からも増やしていこうと考えている。

13、登録医からの紹介の場合、検査の待ち日数等でメリットはあるのか。メリット

がなければ登録数は増えていかないのではないか。

→診療予約については登録医であれば地域医療枠があるので、一般患者よりも早く予約を取ることができるが、検査予約については一般患者と大きな差はない。しかし機器を更新したことにより、検査期間が短くなったものもある。また外来診察の結果、緊急性の高い検査が必要であれば至急で検査予約することもある。

14、節電について、市立豊中病院も対象となっているのか。

→現時点では計画停電の対象とはなっていない。夏場はガスでの発電も行っており、大飯原発が稼動しなかったとしても対応可能である。昨年より院内の空調や照明などの節電を継続して行っている。

《 2012年3月19日開催審議会審議内容からの変更点について 》

● 1、計画策定趣旨 (4) 病院運営計画における基本目標について文言の提言があったが、以下のとおりに変更することとする。

提案：「良質で安全な医療を提供します。」

採択：「高度で良質な医療を提供します。」

● 4、取り組み計画 (1) 医療の質の向上 ①高度・専門医療の提供について文言の提言があったが、全職員を対象としたワークライフバランスを考慮していく中で、特に近年増加傾向にある女性医師について検討していくという文言に変更した。

提案：「特に女性医師増加の傾向にあることから、ワークライフバランスを考慮した長続きする働き方についての具体的検討をします。」

採択：「ワークライフバランスに考慮し、長続きする働き方に対する具体的検討を行います。なかでも、近年増加傾向にある女性医師の継続就労支援のあり方について検討を行います。」

● 3、当院の担うべき医療等 (1) 救急医療 ①スローガンについての提言があったが、以下のとおりに変更することとする。

提案：「「365日24時間 お断り件数ゼロ」の実現に努めます。」

採択：「「365日24時間 断らない救急」の実現に努めます。」

以上の議論をもって、この運営計画を市長に答申することとする。

以上